

臨床研究についての説明書

当院では診療の質向上のため、患者様の診療データを用いた研究を行なっております。

【研究課題】回復期病棟に入院した大腿骨近位部骨折患者におけるリハビリ単位数と退院時 FIM 運動項目との関連

【研究責任者】新上三川病院 リハビリテーション科・理学療法士・氏名：森諒

【研究分担者】対象者なし

【研究期間】2023年6月1日から2025年5月31日

【研究対象となる方】2023年6月1日から2025年5月31日の期間に大腿骨近位部骨折にて当院回復期病棟へ入院された方

【研究意義、目的】

本研究は、大腿骨近位部骨折にて入院された方の入院期間中のリハビリ総時間が退院時の日常生活動作の獲得についての関連があるかを明らかにすることを目的とし、回復期病棟における適切なリハビリテーション提供量を考えるための基礎資料を得ることを意義とします。

【研究方法】

この研究は、当院倫理委員会の承認後、病院長の許可を受けて実施いたします。後方視研究であり、国の『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』に基づき、実施いたします。電子カルテに記録・保存されている診療データ（入院時のリハビリ平均介入時間、入退院時のFIM、年齢、性別、病名、術式、入院時握力介護度、転帰先、入院期間）等を収集して行う研究です。参加される皆様に対し新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究により収集される診療データ等は、外部漏洩防止のため、慎重に取扱う必要があります。診療データ等は個人識別が出来ないよう、氏名・生年月日等を削除し、代わりに研究用の符号をつける処理を行います。収集データは本研究担当者が集約・データ化を行い、データに関しては、パスワード設定を行い保管いたします。ただし、必要に応じ、符号を元の氏名等に戻す処理を行い、結果をお知らせすることも出来ます。研究結果は、個人が特定できない形式で学会や論文等で報告いたします。研究終了後、収集したデータは厳重な管理のもと、当該論文等の発表後10年間保管いたします。

【研究対象への拒否】

研究対象になることを拒否される場合は、2026年6月30日までに下記連絡先へご連絡ください。ご連絡が無い場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。なお、本研究を拒否された場合でも、不利益は生じません。

【資金源】本研究において資金は発生いたしません。また、研究対象者に係る金銭負担、謝金はございません。

【利益相反】本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

<お問い合わせ先（研究責任者）>

新上三川病院

住所：栃木県河内郡上三川町上三川 2360 番地

電話：0285-56-7111

所属：リハビリテーション科

氏名：森諒

E-Mail：reha@kaminokawa-hp.jp